

## 【めむろ未来ミーティング日程 6】

令和5年1月12日(木)

10:00～10:54

### 西土狩地域福祉館

(西土狩区、美蔓区、国見区)

- 参加者 6人
- 芽室町 町長、副町長、教育長、政策推進課長、農林課長、環境土木課長
- 記録 政策調整係

#### ■対応・検討が必要な事項

- ①職員の町民対応の件(健康福祉課)
- ②訪問看護の支払いの件(公立芽室病院)
- ③ふるさと納税返礼品の件(魅力創造課)
- ④有害鳥獣のうちカラスへの対応の件(農林課)

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
  - 資料1 公共施設等再配置構想
  - 資料2 まちなか再生の取り組み
  - 資料3 マイナンバーカード臨時窓口
  - 資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

#### 4 意見交換

##### 【意見】

西土狩保育所について、現状では敷地内を貸し出して、ラジコンコースとして活用しているが、町として今後の利活用について検討しているか確認したい。解体の予定はあるのか。

##### 【政策推進課長】

昨年の6月頃に、地域の皆さんと担当職員と意見交

換したところであり、今現在は解体する方向であるが、解体時期は未定である。解体時期が決まったら、地域の皆さんに報告させていただく。

##### 【意見】

跡地利用は決まっているのか。

##### 【町長】

現状は未定である。跡地利用に関しては、地域と丁寧な協議が必要であると認識している。

##### 【意見】

マイナンバーカードについて、芽室町では、現状どのくらい交付されているのか教えていただきたい。

##### 【町長】

交付率はおおよそ半分くらいである。国が、マイナンバーカードの交付率が低い自治体に対して、色んな補助金の率を減らす、あるいは地方交付税の減額をするという話が出ていて、少し強引にマイナンバーカードの普及を進めようとしている印象を受けている。マイナンバーカード交付率が全国平均より低い、または2週間単位の交付率の伸び率が少ない自治体をフォローアップ団体として登録し、登録されると国から指導が来るという状況である。

現状、マイナンバーカードの交付は任意のため強制することはできないが、町民に作成のメリットが分からない状況にあるように思える。保険証の統合、診療履歴が残ること、確定申告の医療費控除など手書きで処理していたものが不要になるなど、マイナンバーカード1つで手続きが可能になってきて、今後マイナンバーカードの利用が急速に私たちの生活に身近になるようになってくると思われる。マイナポイントが出るからではなく、住民サービスにどのようなメリットがあるのかを町民にお示ししないといけないと考えている。

北見市では「書かない窓口」を実施して、マイナンバーカードを活用した行政手続きもどんどん進んできており、国としても住民窓口の17の業務を早くデジタル化しなさいという指導もあり、本町としても乗

り遅れないように推進していきたい。

芽室町の交付率は52.9%で、十勝では7番目である。ご家族も含めてぜひ、作成をお願いしたい。

【意見】

コロナワクチンの関係で、役場職員の言動や立ち振る舞いの対応が、町民に寄り添っていないように思える。

3回目のコロナワクチンの時に、帯広市や音更町で接種が始まって、芽室町は書類が届いていなかった状況であり、担当部署にコロナワクチンのことを問い合わせ、「このままワクチン接種が進まない、コロナにかかり重症化率が上昇するのではないのか？」と尋ねたところ、「そうですね」の一言で対応が終わった。

また、私の基礎疾患を持っている知り合いの方が役場に来庁した際に、対応してくれた女性の職員から開口一番、「そんなにワクチン打ちたいですか？」という旨の発言を受けた。その職員はネームプレートを裏側にして氏名が分からなかった。

さらに、12月のオミクロン株について、芽室町では集団接種をやらないのか？という旨を電話で問い合わせた際に、「集団接種を12月7日と17日に予定しているため、決定次第連絡します」と言っていたが、連絡が来なかったため、12月4日に再度問合せをしたところ、「7日は既に満員で17日は残り3人の予定です」という回答であった。職員には、もう少し町民に寄り添った対応をお願いしたい。①

【町長】

まず、そのような対応をした職員がいたことを、お詫び申し上げます。今後、しっかり対応するよう努めていきたい。

コロナワクチンは、オミクロン株の接種が入ってきたことにより、接種のタイミングが、難しい場合もあった。若い世代がオミクロン株を先に接種できた場合もあり、苦情を受けたこともあった。

いずれにしても当該事項は担当課に伝え、今後もこのことだけではなく、町民に寄り添った形で対応していきたい。

【意見】

公立芽室病院の訪問看護の料金の支払いについて、以前にりらくに行っていた際には、銀行の口座引落しで対応していただいたが、公立芽室病院では直接支払いに行っている状況である。金額が大きいこともあり、口座引落しが出来るようになるのと有難い。②

【副町長】

病院では窓口支払いが原則あり、訪問看護の場合、看護師にその場で支払うというわけにもいかない。病院では支払い時に、クレジットカードで引落しできるような対応を取っているため、仕組みとしては口座引き落としが出来るのではないかと思う。内部で検討させてほしい。

【意見】

ふるさと納税の返礼品として玉ねぎを追加させてもらいたいという相談が町からあったが、現状どれくらいの納税額があるのか教えていただきたい。

【町長】

ふるさと納税の取組みとしては主に3つあり、①サイトを増やす②コーディネートしてくれる民間事業者にホームページ等で効果的にPRしていただく③返礼品を増やす。昨年は1億であったが、現状では2.5億円であった。ファンが増えてきているため、今後はもう少し上の目標を立てても良いと考えている。

また、昨年11月には楽天のふるさと納税において、スイートコーンの売上げが野菜部門で全国1位になった。これは次年度に返礼する申込みであり、出荷できる量も事前に決まっているため、次年度以降も期待できる返礼品であると考えている。

町としては、今後1年を通して返礼品として対応できる加工品に取り組む必要があると思っている。

伊勢の赤福では、芽室の小豆を使っていたおり、全体の小豆の7～8割が国産で、そのうち芽室町は半分で全国シェアトップであった。但し、赤福の餅は消費期限があるため返礼品には向かないことから、「ぜんざい」を追加できないのか今後検討していきたいと考えている。

【意見】

他の市町村のホームページを見ている。芽室町であれば、めむろ牛を返礼品としてもう少し増やしても良いのではないか。例えば、加工してハンバーグとしている市町村もあった。畜産関連の商品を増やすことが良いのではないか。③

【町長】

返礼品として、加工を含めて考えていただける農家と、町とのマッチングが大事であると考えている。ふるさと納税は、色々なチャンスがあると思うので、6次産業化に取り組んでいる農業者も多いことから、返礼品の提案やその他情報などがあれば、担当の魅力創造課に相談してほしい。

【意見】

道路パトロールについて、昨年から、いつも同じところを走っているように思う。通っている割には、道路の穴が空いているところなどを直してもらっていない。年末の大雪の際には、街路樹が倒れ掛かっているところが大雪により倒木し、道路に除雪が入れなかったこともあった。そういうことがないように、道路の補修や、支障木の撤去などの対応をお願いしたい。

【環境土木課長】

道路パトロールは週一回、回っている。道路の不具合箇所は、パトロールの委託会社から報告が上がった箇所を随時修繕して対応している。修繕箇所が多く、順番に補修対応しているが、ずっと修繕されていない箇所があれば、直接連絡いただきたい。

【町長】

トラクター等に乗った時と、一般車両の場合では視線の高さが異なる。通れるから大丈夫ということではなく、農業者のトラクターに乗った時の感覚も重要であることから、特に危険な箇所は直接連絡いただければ助かる。なお、支障木については、公共敷地の木と、民間敷地の木では、民間の木の方が対応する時間が遅くなる場合があることはご理解いただき

い。

【意見】

今のことに関連して、自宅前の道路状況が悪く、トラックで走るとかなり揺られる状況にあったため、役場に「補修の順番もあると思うが現場を見て、簡易的でも良いので対応して欲しい」と伝えたが、その後も連絡をいただいている。

【環境土木課長】

担当に伝えて、直接連絡するように対応したい。

【町長】

担当職員が現場を見に行くと言ったが、行っていない場合は、それはまずいので、今一度ないように庁内に共有するが、現場を見た上で、対応できないことがあることは、ご了承いただきたい。また、町内で補修する箇所は膨大にあることも御理解いただきたい。他の地域のご意見で、補修箇所をマップ化して計画し、補修順番を公表するのはどうかという意見もあったため、検討させていただきたい。いずれにしても、直接要望があれば現場を見るなどの対応はしていく。

【意見】

一度、見に来てもらったが、場所が違ったらしい。

【町長】

連絡が合った際には、ご本人と会う必要があると考えている。

【意見】

知り合いから聞いた話で、町内の学校で先生からのいじめがあって、子どもが登校したくないという内容だったが、役場でも把握しているのか

【教育長】

いじめの事案は、随時学校から教育委員会に報告をいただいているところである。教育委員会、学校、スクールアドバイザー、保護者と連携しながら相談に

乗るなど、その都度対応している。

【意見】

11月頃に帯広市の記事で、先生が生徒に暴言をして、別の生徒が先生の暴言の真似をして生徒をいじめていたという内容であり、それと同様のことがその学校で行われていて、芽室も新聞に掲載されるのではないかと親同士の話の中で広まったと聞いた。

【教育長】

いじめは絶対にあってはいけなく、学校にも日常的に指導しており、いじめを受けた子どもの心情を最優先して、気を付けて対応するように学校にも指導しているところである。再度、学校とも情報共有して確認を取り、継続して指導していきたい。何か気になる点があれば、学校の方に随時連絡をいただきたい。

【意見】

有害鳥獣の報告書を毎年提出するようになっているが、報告した内容は、どのような事に役立てられているのか、お聞きしたい。

【農林課長】

目的が2つあり、1つは各市町村で行っている十勝管内の被害額全体の把握、2つ目は芽室町内の地域エリア別に被害状況を把握することである。エリア別に被害状況を把握することにより、重点的なパトロールや罠の仕掛け場所などを検討するための材料としている。

【意見】

アライグマは、どれくらいいるのか。

【農林課長】

年度によって前後はあるが、相対的に見ると右肩上がりが増えてきている印象である。十勝全体として同様の状況である。JAの広報誌にも掲載しているが、アライグマは外来生物のため、免許がなくても講習を1回受ければ、罠をかけることができる。アライグ

マは捕獲する以外の手段がないため、農業者のご理解・ご協力をいただきながら、対応していくしかない。

【意見】

罠にキツネが入った場合はどうなるのか

【農林課長】

駆除の対象となる動物は決まっており、キツネも対象になるので問題ない。ネコなどは対象とならないので、逃がしてあげるしかない。

【意見】

他の市町村ではシカ柵の資材に対する補助があると聞いているが、芽室町ではあるのか。

【農林課長】

町・農協・森林組合等で構成される有害鳥獣対策協議会で、電気柵の補助金がある。それ以外の柵の補助で、町の単独補助は無いが、国の補助金はある。設置を検討した経緯もあるが、その場合どこで設置すればシカが来なくなるのかが重要であり、芽室町の地形状況を勘案すると、設置したとしても逆側から入ってくる地形があることから、現状では活用は難しいと考えている。

【町長】

雄馬別の方では電気柵を多く設置しているが、川北でも有害鳥獣が増えてきていることを認識している。希望があれば電気柵は助成が出来るが、やみくもに柵を立てず獣道を分析する必要もある。

【意見】

シカは5～6頭が、沢がある箇所に住み着いている印象である。畑を斜めに横断するから、作物の影響を受けている。

【意見】

関連して、カラスについて前回の未来ミーティングでもお話したが、豚または牛の死骸なのか不明だが、カラスが油をくわえた状態で、倉庫の中に入れて置い

ていき、油が溶けだしてくるので、倉庫がひどい状況になる。帯広の家畜処分場の産業廃棄物はしっかり対応していると思うが、どこかに捨てて行っている人がいるのかもしれない、帯広市と連携して死骸を囲うなどしていただけないか。④

【農林課長】

畜産公社や芽室町内の畜産農家も、死骸を放っておくと熊が寄ってくる懸念があるため、鉄で囲うなどの対応をしているとは思いますが、畜産農家に保管方法を周知していきたいと思う。

【町長】

カラスは近隣市町村をまたがって飛んでくるため、隣の市町村との連携が必要で、十勝総合振興局にも相談が必要であると思う。畜産農家への呼びかけが必要になるが、そこから始めたいと考えている。



10時54分終了